

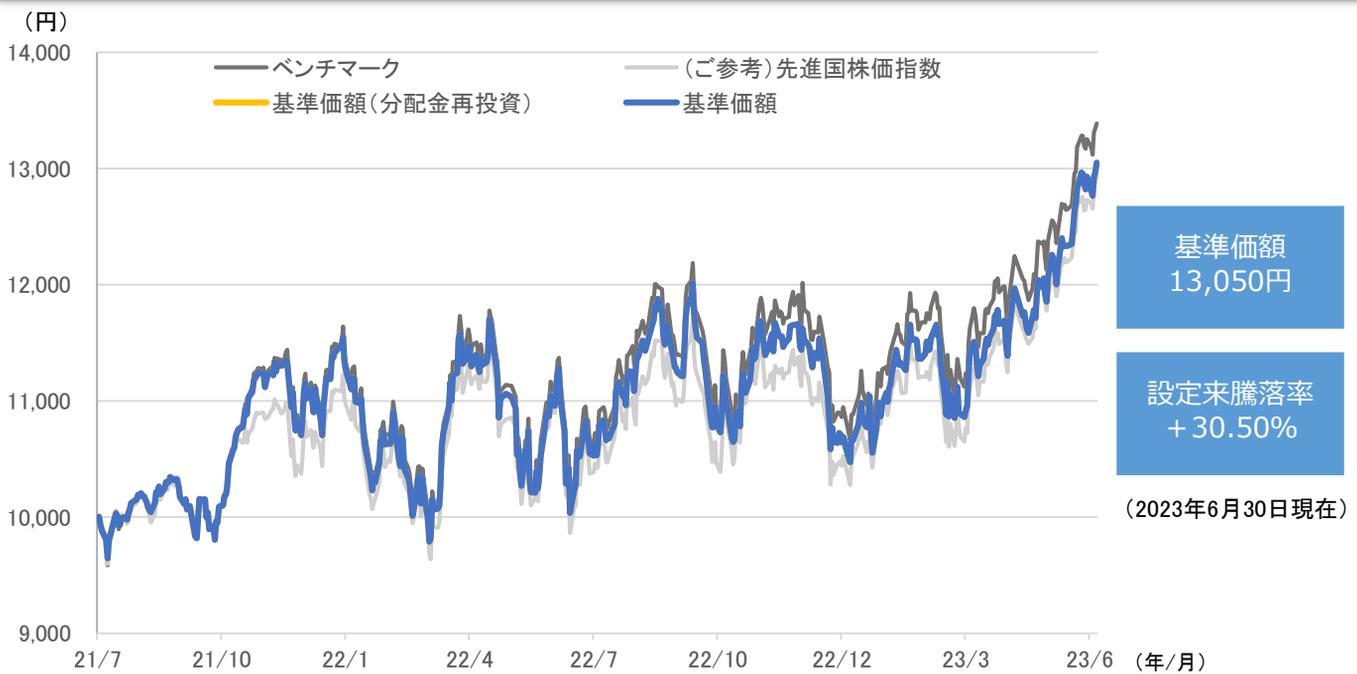
足元の運用状況と組入銘柄のご紹介

- ・世界の株式市場では、米国で年内に2回の追加利上げが見込まれるなど、各国の金融政策やこれまでの利上げによる各企業への影響に注目が集まっています。
- ・こうしたなか、世界的な脱炭素化の流れに大きな変化はないと考えており、当ファンドの組入銘柄は、引続き中長期的な成長が期待できると考えています。
- ・当資料では、当ファンドの足元の運用状況と組入銘柄についてご紹介します。

年初来の市場環境と運用状況の振り返り

米国の地方銀行の破綻や欧州の大手銀行の経営不安により下落する場面もありましたが、その後は、金融システム不安の後退やインフレのピークアウト見通し（米国のインフレの落ち着き）、中国の経済回復への期待、ハイテク企業の好決算や生成AI関連需要増加を背景とした半導体関連株の急騰などから堅調に推移しました。

パフォーマンスの推移



※期間：2021年7月13日(設定日)～2023年6月30日(日次)
 ※騰落率は、分配金(税引前)を再投資したもとして計算しています。
 ※ベンチマーク(インベスコ・グローバルESGインサイト(除く日本、韓国)インデックス(円換算ベース))および(ご参考)先進国株価指数は、当ファンド設定日の前営業日を10,000円として計算したものです。ベンチマークは、基準価額への反映を考慮して、前営業日の値を使用しています。(ご参考)先進国株価指数についても、ベンチマークに合わせ、前営業日の値を使用しています。
 ※基準価額は、信託報酬控除後です。
 ※主要投資対象ファンド(インベスコ グローバルESGインサイト・インデックス・ファンド(適格機関投資家限定))とベンチマークおよび(ご参考)先進国株価指数は、為替の評価時点が異なります。
 ※ベンチマークは、インベスコ・グローバルESGインサイト(除く日本、韓国)インデックス(円換算ベース)です。詳しくは、後掲の「本資料で使用している指数について」をご覧ください。
 ※「(ご参考)先進国株価指数」については、当ファンドのベンチマークである「インベスコ・グローバルESGインサイト(除く日本、韓国)インデックス(円換算ベース)」の投資ユニバース「インベスコ・グローバル(除く日本、韓国)インデックス」を使用しています。先進国(除く日本、韓国)上場銘柄のうち、時価総額と流動性に富む大・中型株を対象とするものです。ご参考のために掲載したものであり、当ファンドのベンチマークおよび参考指数ではありません。詳しくは、後掲の「本資料で使用している指数について」をご覧ください。
 ※ESG要素の有無によるパフォーマンスの違いを比較することを目的に、ESG要素を考慮していない、市場全体の動きを反映した、(ご参考)先進国株価指数を掲載しています。

※上記は過去の情報または運用実績であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、ちばぎんアセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。■当資料のお取扱いについては最終ページの「本資料のお取扱いにおけるご留意点」をご覧ください。



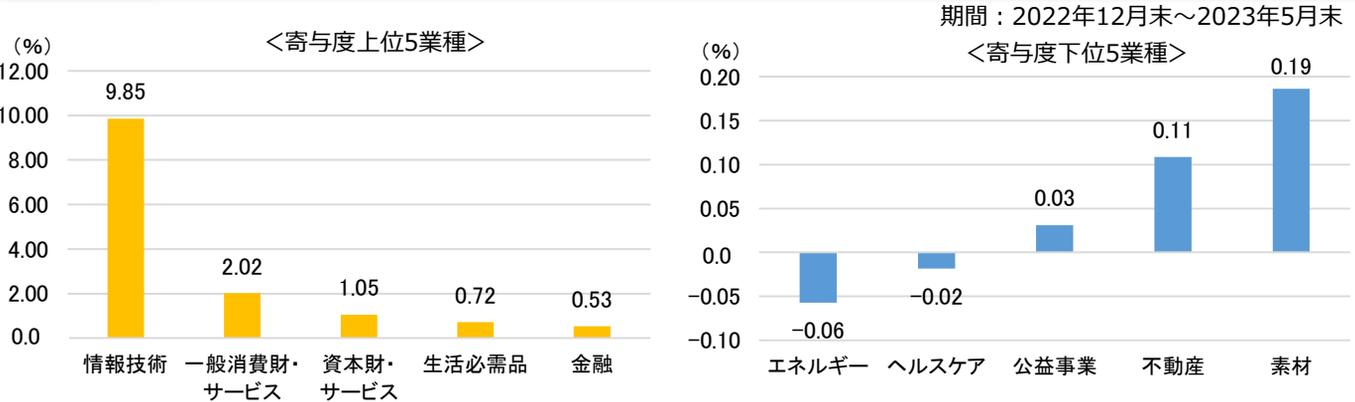
グローバルESG株式インデックスファンド

愛称：ESGインサイト

追加型投信/海外/株式/インデックス型

当ファンドの主要投資対象ファンド「インベスコ グローバルESGインサイト・インデックス・ファンド（適格機関投資家限定）」が投資するマザーファンドの資産の状況

業種別要因



銘柄別要因

期間：2022年12月末～2023年5月末

| | 銘柄 | 区分 | 国・地域 | 業種 | 寄与度 (%) |
|----|------------------|------------|------|------------|---------|
| 上位 | 1 エヌビディア | ①:ESG課題配慮型 | 米国 | 情報技術 | 5.19 |
| | 2 マイクロソフト | ①:ESG課題配慮型 | 米国 | 情報技術 | 2.14 |
| | 3 テスラ | ②:環境課題解決型 | 米国 | 一般消費財・サービス | 1.26 |
| | 4 セールスフォース | ①:ESG課題配慮型 | 米国 | 情報技術 | 0.79 |
| | 5 ファースト・ソーラー | ②:環境課題解決型 | 米国 | 情報技術 | 0.47 |
| 下位 | 1 エンフェーズ・エナジー | ②:環境課題解決型 | 米国 | 情報技術 | -0.93 |
| | 2 エマソン・エレクトリック | ②:環境課題解決型 | 米国 | 資本財・サービス | -0.31 |
| | 3 CVSヘルス | ①:ESG課題配慮型 | 米国 | ヘルスケア | -0.18 |
| | 4 ユナイテッドヘルス・グループ | ①:ESG課題配慮型 | 米国 | ヘルスケア | -0.17 |
| | 5 シグナ・グループ | ①:ESG課題配慮型 | 米国 | ヘルスケア | -0.15 |

組入上位10銘柄

2023年5月末時点

| | 銘柄 | 区分 | 国・地域 | 業種 | 比率 (%) |
|----|------------------|------------|-------|------------|--------|
| 1 | エヌビディア | ①:ESG課題配慮型 | 米国 | 情報技術 | 7.0 |
| 2 | マイクロソフト | ①:ESG課題配慮型 | 米国 | 情報技術 | 6.0 |
| 3 | テスラ | ②:環境課題解決型 | 米国 | 一般消費財・サービス | 2.5 |
| 4 | ユナイテッドヘルス・グループ | ①:ESG課題配慮型 | 米国 | ヘルスケア | 2.4 |
| 5 | ウエイスト・マネジメント | ②:環境課題解決型 | 米国 | 資本財・サービス | 2.2 |
| 6 | ヴェスタス・ウィンド・システムズ | ②:環境課題解決型 | デンマーク | 資本財・サービス | 1.9 |
| 7 | ネスレ | ①:ESG課題配慮型 | スイス | 生活必需品 | 1.7 |
| 8 | エマソン・エレクトリック | ②:環境課題解決型 | 米国 | 資本財・サービス | 1.6 |
| 9 | セールスフォース | ①:ESG課題配慮型 | 米国 | 情報技術 | 1.6 |
| 10 | エンフェーズ・エナジー | ②:環境課題解決型 | 米国 | 情報技術 | 1.6 |

※業種は、GICS(世界産業分類基準)に準じています。
 ※銘柄別要因および組入上位10銘柄の区分は、ベンチマークの銘柄選定において、一定のESG評価を満たした銘柄を①:ESG課題配慮型、環境課題解決に資する事業からの売上が10%以上を占めた銘柄を②:環境課題解決型としています。①と②の条件が重複した銘柄は、②:環境課題解決型に分類されます。
 ※組入上位10銘柄の比率は対純資産総額比です。
 ※「当ファンドの主要投資対象ファンド「インベスコ グローバルESGインサイト・インデックス・ファンド(適格機関投資家限定)」が投資するマザーファンドの資産の状況」は、ちばぎんアセットマネジメントがインベスコ・アセット・マネジメントからの情報提供に基づき作成していますが、掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。
 上記は2023年5月31日時点の当ファンドの主要投資対象ファンド「インベスコ グローバルESGインサイト・インデックス・ファンド(適格機関投資家限定)」が投資するマザーファンドにおける組入銘柄について、ちばぎんアセットマネジメントがまとめたものです。記載されている個別の銘柄・企業名について、その銘柄または企業の株式等の売買を推奨するものではなく、また、当ファンドへの組み入れを示唆・保証するものではありません。

※上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「グローバルESG株式インデックスファンド(愛称:ESGインサイト)」へのご理解を深めていただくことを目的として、ちばぎんアセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。■当資料のお取り扱いについては最終ページの「本資料のお取り扱いにおけるご留意点」をご覧ください。



組入銘柄のご紹介

ネスレ

- スイスに本社を置く、世界最大級の食品・飲料メーカーです。
- 同社は、2030年までに温室効果ガス排出量を2018年比で半減させ、2050年までにネットゼロを達成することを目標に掲げています。目標達成に向けては、2025年までに再生可能エネルギー100%の電力に移行することが重要な要素となっており、2023年3月には米テキサス州のソーラープロジェクトに出資し、利用可能な再生エネルギーの拡大に貢献しています。
- また、プラスチック使用量削減のため、2025年までに製品パッケージの100%をリサイクル可能なものにし、バージンプラスチックの使用量を3分の1に削減することを約束しています。「キットカット」では、紙製包装の取り組みを始めています。

【株価推移】

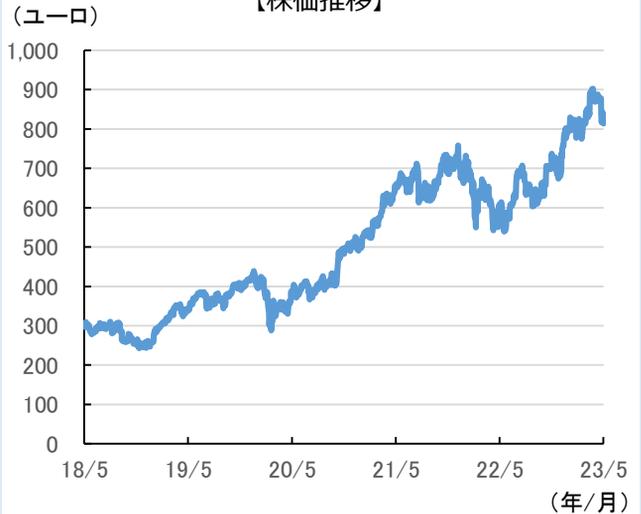


期間：2018年5月31日～2023年5月31日（日次）
出所：ブルームバーグおよび各種資料をもとにちばぎんアセットマネジメント作成

LVMHモエヘネシー・ルイヴィトン

- フランス・パリを拠点とする世界最大級のコングロメリット企業です。
- 同社では2026年までに、パッケージにバージンプラスチックを使用することを廃止すると掲げており、バイオベースおよびサーキュラープラスチックの利用などで持続可能なパッケージの使用を加速させるとしています。
- 同社は、2023年5月25日から27日までパリで開催された国際サミット「ChangeNOW」の場で、現地団体との生物多様性に関する新たなパートナーシップを発表しました。2026年までにグループの全従業員を対象に環境問題に関する研修を行い、1人1人に変革を担う存在になってもらうという目標を掲げています。

【株価推移】



期間：2018年5月31日～2023年5月31日（日次）
出所：ブルームバーグおよび各種資料をもとにちばぎんアセットマネジメント作成

上記は2023年5月31日時点の当ファンドの主要投資対象ファンド「インベスコ グローバルESGインサイト・インデックス・ファンド(適格機関投資家限定)」が投資するマザーファンドにおける組入銘柄について、ちばぎんアセットマネジメントがまとめたものです。記載されている個別の銘柄・企業名について、その銘柄または企業の株式等の売買を推奨するものではなく、また、当ファンドへの組み入れを示唆・保証するものではありません。

※上記は過去の情報であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「グローバルESG株式インデックスファンド(愛称: ESGインサイト)」へのご理解を深めていただくことを目的として、ちばぎんアセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。■当資料のお取扱いについては最終ページの「本資料のお取扱いにおけるご留意点」をご覧ください。



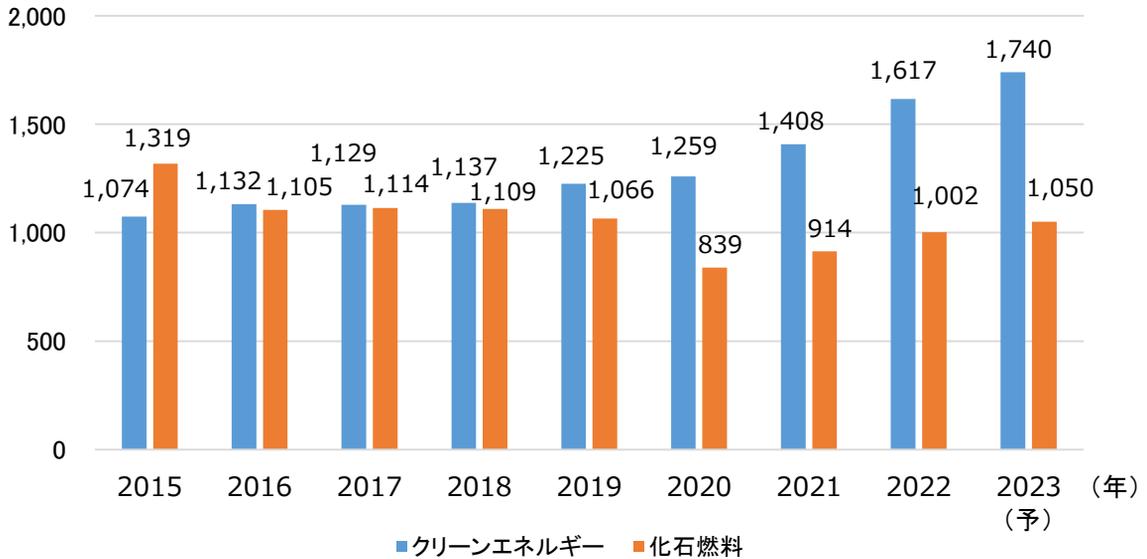
拡大するクリーンエネルギーへの投資額

国際エネルギー機関（IEA）は5月25日、「World Energy Investment 2023」を公表しました。2023年の見通しでは、世界で約2.8兆米ドルがエネルギーに投資され、そのうちの1.7兆米ドル以上がクリーンエネルギー技術に、残りの1兆米ドル強は石炭、ガス、石油などの化石燃料に投入されると予想されています。

2021年から2023年にかけてのクリーンエネルギーへの投資は、24%増加すると予想されていますが、同時期の化石燃料への投資は15%の増加に留まる見込みです。IEAは太陽光や風力といった再生エネルギーに加えて、電気自動車（EV）や原子力もクリーンエネルギーと位置付けています。2023年は太陽光とEVが投資増加の主な要因となるとみています。

クリーンエネルギーと化石燃料への投資額

(10億米ドル)



クリーンエネルギーへの投資拡大の背景として、新型コロナウイルス禍からの経済回復や、ロシアのウクライナ侵攻による化石燃料の価格高騰などがあげられます。また、米国での「インフレ抑制法」に基づくクリーンエネルギー支援策のほか欧州、日本、中国での政策面での後押しも一役買っています。IEAの試算によると、2050年に温暖化ガス排出量を実質ゼロにするためには、2030年までに年間4兆米ドル超がクリーンエネルギーへ投資される必要があるとしています。

出所：IEA「World Energy Investment 2023」および各種資料をもとにちばぎんアセットマネジメント作成

※上記は過去の情報または作成時点の見解であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、ちばぎんアセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。■当資料のお取扱いについては最終ページの「本資料のお取扱いにおけるご留意点」をご覧ください。



ベンチマークの指数構築プロセスのイメージ

ステップ① 投資ユニバース (約2,000銘柄)

先進国 (除く日本、韓国) 上場銘柄のうち、時価総額と流動性に富む大・中型株を対象とします。

ステップ② ESGスクリーニング

国連グローバル・コンパクト不適合銘柄、不祥事銘柄、特定事業関連銘柄 (武器、石炭、タバコ産業関連銘柄など) などを除外します。

ステップ③ ESG銘柄選定

①ESG課題配慮型銘柄

気候変動やダイバーシティといった代表的なESG課題に絞り込んだESG評価の全3項目を満たす銘柄を選定します。

- E (環境)** : CDPの気候変動評価がAまたはB
- S (社会)** : サステナビリティスコアのダイバーシティスコアが上位75%であること
- G (ガバナンス)** : サステナビリティスコアのガバナンススコアが上位75%であること

②環境課題解決型銘柄

環境課題解決に資する事業からの売上が10%以上を占める銘柄を選定します。

<環境課題事業例>

- 再生可能エネルギー
- 電気自動車の製造
- 省エネ製品の製造 など



ステップ④ ポートフォリオ調整

- ①ESG課題配慮型銘柄と②環境課題解決型銘柄の比率が時価総額ベースで8:2となるよう調整します。
- 適切な分散効果を確認するため、個別銘柄の最大ウェイトを5% (②環境課題解決型銘柄については最大ウェイト3%) とするほか、国や業種の比率を投資ユニバース対比で±5%以内とします。

インベスコ・グローバルESGインサイト (除く日本、韓国) インデックス (円換算ベース) (400~450銘柄程度)

毎年6月に年次のリバランスを行い、毎年3月・9月・12月には銘柄除外基準のみ適用し、見直しを行います。

* ベンチマークの指数構築プロセスのイメージは作成時点のものであり、今後変更となる場合があります。

* 指数構成銘柄数はあくまでも指数管理ルール適用の結果です。

■ 本資料で使用している指数について

インベスコ・グローバルESGインサイト(除く日本、韓国)インデックス(円換算ベース)(以下、「インデックス」といいます。)および「インベスコ・グローバル(除く日本、韓国)インデックス」(以下、「(ご参考)先進国株価指数」といいます。))は、インベスコ・インデクシング・LLC(以下、「許諾者」といいます。)の所有物であり、委託会社にその使用が許諾されています。

当ファンドは、許諾者(その関係会社を含む。)によって、支援、推奨、販売または販売促進されていません。許諾者は、当ファンドの保有者または公衆一般のいかなる者に対しても、一般的な証券投資または特に当ファンドへの投資についての妥当性や、インデックスおよび(ご参考)先進国株価指数の一般的な市場への追従能力について、明示的か黙示的かを問わず、何らの表明もしくは保証も行いません。許諾者はインデックスおよび(ご参考)先進国株価指数の決定、構築、計算に関し、被許諾者または当ファンドの保有者の要望を考慮する義務を負いません。許諾者は、当ファンドの発行や償還に関する決定や計算に責任を負わず、また関与をしません。許諾者は、当ファンドの管理、販売、取引に関して義務や責任を負いません。

許諾者は、インデックスおよび(ご参考)先進国株価指数とそれに含まれるデータの正確性、完全性を保証しません。許諾者は、ここに許諾された権利に関連するインデックスおよび(ご参考)先進国株価指数またはそれに含まれるデータの利用により、被許諾者、当ファンドの保有者またはその他いかなる者もしくは組織に生じた結果についても、または、その他のいかなる使用に対しても、明示的か黙示的かを問わず、何らの保証も行いません。許諾者は、明示的か黙示的かを問わず、何らの保証も行わず、かつインデックスおよび(ご参考)先進国株価指数またはそれに含まれるデータに関する、特定の目的のための市場商品性または適合性については、いかなる保証も明示的に否認します。上記に限らず、いかなる場合においても、許諾者は、いかなる特別、懲罰的、間接的もしくは結果的損害(逸失利益を含む。)について、たとえもし当該損害等の可能性につき通知されていたとしても、何らの責任も負いません。

■ 当資料は、投資者の皆様へ「グローバルESG株式インデックスファンド(愛称: ESGインサイト)」へのご理解を深めていただくことを目的として、ちばぎんアセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料です。■ 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。■ 当資料のお取扱いについては最終ページの「本資料のお取扱いにおけるご留意点」をご覧ください。



ファンドの特色

- 1. 主要投資対象ファンドへの投資を通じて、先進国(除く日本、韓国)の株式に投資します。
- 2. 「インベスコ・グローバルESGインサイト(除く日本、韓国)インデックス(円換算ベース)」に連動する投資成果をめざします。
 - ・インベスコ・グループが開発した「インベスコ・グローバルESGインサイト(除く日本、韓国)インデックス(円換算ベース)」をベンチマークとします。
- ※ ファンドは、ベンチマークと連動する投資成果を目指して運用を行いますが、基準価額とベンチマークの動きは乖離する場合があります。
- ※ 主要投資対象ファンドの純資産総額が少額の場合、ESG関連銘柄に投資するETF(上場投資信託証券)に投資することがあります。ETFとは、S&P500種指数などといった特定の指数の動きに連動する運用成果をめざし、ニューヨーク証券取引所などの金融商品取引所に上場している投資信託です。
- ※ 市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行えない場合があります。

投資リスク

《基準価額の変動要因》

- ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。
したがって、**投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。**
- **信託財産に生じた利益および損失は、全て投資者の皆様には帰属します。**
- **投資信託は預貯金とは異なります。**

【株価変動リスク】
 株価は、発行者の業績、経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化や国内外の経済情勢等により変動します。株価が下落した場合は、基準価額の下落要因となります。

【為替変動リスク】
 為替相場は、各国の経済状況、政治情勢等の様々な要因により変動します。投資先の通貨に対して円高となった場合には、基準価額の下落要因となります。

【信用リスク】
 有価証券等の発行体等が財政難、経営不振、その他の理由により、利払い、償還金、借入金等をあらかじめ決められた条件で支払うことができなくなった場合、またはそれが予想される場合には、有価証券等の価格は下落し、基準価額の下落要因となる可能性があります。

【流動性リスク】
 時価総額が小さい、取引量が少ない等流動性が低い市場、あるいは取引規制等の理由から流動性が低下している市場で有価証券等を売買する場合、市場の実勢と大きく乖離した水準で取引されることがあり、その結果、基準価額の下落要因となる可能性があります。

【カントリーリスク】
 投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化、外国為替規制、資本規制、税制の変更等の事態が生じた場合、またはそれが予想される場合には、方針に沿った運用が困難になり、基準価額の下落要因となる可能性があります。

※ 基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

《その他の留意点》

- ファンドはベンチマークの動きに連動する投資成果を目指して運用を行いますが、主として、ファンドとベンチマークの組入資産の銘柄、売買タイミング、時価評価および比率の差異並びに信託報酬、取引費用、為替、ETFとベンチマークの動きの不一致等の要因があるため、ファンドとベンチマークの騰落率は完全に一致するものではなく、乖離する場合があります。ベンチマークの算出・取得ができない事態が生じた場合、委託会社はベンチマークの変更や廃止を含む運用方針の見直しを行うことまたはファンドを償還することがあります。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりの方が小さかった場合も同様です。
- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付が中止となる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性があります。

■当資料は、投資者の皆様へ「グローバルESG株式インデックスファンド(愛称:ESGインサイト)」へのご理解を深めていただくことを目的として、ちばぎんアセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。■当資料のお取扱いについては最終ページの「本資料のお取扱いにおける留意点」をご覧ください。



お申込みメモ

- 購入単位・・・販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 購入価額・・・購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
(基準価額は1万口当たりで表示しています。)
- 換金単位・・・販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 換金価額・・・換金申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
- 換金代金・・・原則として、換金申込受付日から起算して7営業日目からお支払いします。
- 申込締切時間・・・原則として、販売会社の営業日の午後3時までとします。
- 換金制限・・・ファンドの規模および商品性格などに基つき、運用上の支障をきたさないようにするため、大口の換金には受付時間および金額の制限を行う場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 購入・換金・・・申込日当日および申込日の翌営業日が次のいずれかの場合は、購入・換金のお申込みを受け付けません。
 申込受付不可日
 - ・ニューヨーク証券取引所の休業日
 - ・ロンドン証券取引所の休業日
 - ・ニューヨークの銀行休業日
- 購入・換金申込受付の中止および取消し・・・金融商品取引所等における取引の停止、決済機能の停止その他やむを得ない事情があるときは、委託会社は購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受け付けた購入・換金のお申込みの取り消しを行うことがあります。
- 信託期間・・・無期限(2021年7月13日設定)
- 繰上償還・・・主要投資対象ファンドが償還される場合には、信託契約を解約し、信託を終了(繰上償還)させます。
 次のいずれかの場合には、委託会社は、事前に受益者の意向を確認し、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了(繰上償還)させることができます。
 - ・受益権の口数が30億口を下回った場合
 - ・ファンドを償還することが受益者のために有利であると認める場合
 - ・やむを得ない事情が発生した場合
- 決算日・・・毎年4月20日(休業日の場合は翌営業日)
- 収益分配・・・年1回、毎決算時に分配の方針に基づき分配します。
 「分配金受取りコース」と「分配金再投資コース」の2つの申込方法があります。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 課税関係・・・課税上は株式投資信託として取り扱われます。
 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度および未成年者少額投資非課税制度の適用対象です。
 なお、配当控除あるいは益金不算入制度の適用はありません。

ファンドの費用

- 《投資者が直接的に負担する費用》
 - 購入時手数料
 購入申込受付日の翌営業日の基準価額に**3.3%(税抜3.0%)**を上限として販売会社が定める率を乗じて得た額とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
 - 信託財産留保額
ありません。
 - 《投資者が信託財産で間接的に負担する費用》
 - 運用管理費用(信託報酬)
 純資産総額に対して、**年率0.8635%(税抜0.785%)**を乗じて得た額とします。
 - 投資対象とする投資信託証券
 純資産総額に対して、年率0.4235%程度(税抜0.385%程度)
 - 実質的な負担
 純資産総額に対して、**年率1.287%程度(税抜1.17%程度)**
 ※ この値は目安であり、投資対象とする投資信託証券の実際の組入状況により変動します。
 - その他の費用・手数料
 有価証券等の売買・保管、信託事務にかかる諸費用、投資対象ファンドの解約に伴う信託財産留保額等はその都度、監査費用は日々、ファンドが負担します。これらの費用は、運用状況等により変動する等の理由により、事前に料率、上限額等を示すことができません。
 ※ 上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。
- ※ 詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「お申込みメモ」、「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

■当資料は、投資者の皆様へ「グローバルESG株式インデックスファンド(愛称: ESGインサイト)」へのご理解を深めていただくことを目的として、ちばぎんアセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。■当資料のお取扱いについては最終ページの「本資料のお取扱いにおけるご留意点」をご覧ください。



委託会社・その他の関係法人の概要

- 委託会社 ちばぎんアセットマネジメント株式会社(ファンドの運用の指図を行う者)
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第443号
 加入 協会： 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
 ホームページ： <http://www.chibagin-am.co.jp/>
 サポートダイヤル： 03-5638-1451 受付時間 9:00~17:00 [土日・祝日等は除く]
- 受託会社 三井住友信託銀行株式会社(ファンドの財産の保管および管理を行う者)

販売会社

| 商号等 | 登録金融機関 | 登録番号 | 加入協会 | | | |
|-----------|--------|----------------|---------|-----------------|-----------------|--------------------|
| | | | 日本証券業協会 | 一般社団法人日本投資顧問業協会 | 一般社団法人金融先物取引業協会 | 一般社団法人第二種金融商品取引業協会 |
| 株式会社千葉銀行 | 登録金融機関 | 関東財務局長(登金)第39号 | ○ | | ○ | |
| 株式会社横浜銀行 | 登録金融機関 | 関東財務局長(登金)第36号 | ○ | | ○ | |
| 株式会社武蔵野銀行 | 登録金融機関 | 関東財務局長(登金)第38号 | ○ | | | |

- ・ お申込み、投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は、販売会社へお申し出ください。
- ・ 販売会社は今後変更となる場合があります。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>

- 当資料はちばぎんアセットマネジメントが作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ご購入のお申込みの際は最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクを伴います。)に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆様へ帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、将来の市場環境の変動等により運用方針等が変更される場合があります。
- 当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他の一切の権利はそれぞれの指数開発元もしくは公表元に帰属します。

■当資料は、投資者の皆様へ「グローバルESG株式インデックスファンド(愛称:ESGインサイト)」へのご理解を深めていただくことを目的として、ちばぎんアセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。■当資料のお取扱いについては最終ページの<本資料のお取扱いにおけるご留意点>をご覧ください。